

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 中山間地域総合整備事業
- 路線名又は箇所名： 三瀬地区
- 事業の概要
 - 工 期：平成15年度～平成19年度
 - 事 業 費：606,500千円
 - 事業内容：〔農業生産基盤整備〕ほ場整備、農業用排水路整備、農道整備
〔農村環境基盤整備〕農業集落道整備、集落防災施設整備、市民農園等整備

【公共事業の効果等】

- ほ場の大区画化による農業機械の大型化（省力化・営農経費の節減）、担い手への農地集積、農地の荒廃化（耕作放棄地）の防止
- 水路の整備による用水の安定供給、維持管理の軽減
- 農道の舗装による農作物の荷痛み防止（品質の向上）、維持管理の軽減
- 農村集落の生活利便性及び安全性の向上
- 都市住民との交流などによる地域の活性化

【事業実施前の状況等】

- 農家の高齢化・兼業化が進む中、ほ場が狭小で不整形であり道路・水路が未整備であるため、機械の大型化や農地集積が図れず、農地の荒廃化が危惧されていた。
- 土水路で用水機能が低下しており、補修等の維持管理にも多大な労力を要していた。
- 農道が未舗装で幅員が狭く、出荷に伴う農作物の荷痛みや運搬に支障を来していた。また、路面補修や草刈り等の維持管理にも多大な労力を要していた。
- 集落道の幅員が狭く未舗装であったため、緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等に支障を来していた。
- 民家裏の法面が崩壊し、不安定な状態であり、災害の危険性があった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- ほ場整備実施地区において機械利用組合を設立し、農業機械の大型化や共同利用が図られており、また、農地の集積も進んでいる。（認定農業者への集積率：(H15)2%→(H25)34%）
- 土水路のコンクリート化により農業用水の安定供給や維持管理の軽減が図られている。
- 農道舗装により農作物の荷痛み防止や維持管理の軽減が図られている。
- 三瀬村全体で野菜類及び花き類の作付けが増加しており、農業生産基盤の整備を行ったことが、増加の一つの要因として考えられる。
（野菜類：(H12)5.6ha→(H22)15.0ha、花き類：(H12)2.6ha→(H22)6.8ha）
- 集落道の整備（拡幅・舗装）の結果、緊急車両の乗り入れや一般車両の離合等が可能となり、生活の安全性が向上した。
- 民家裏法面の整備（擁壁工）の結果、法面崩壊が防止され、民家等の安全性が確保できた。
- 体験農園は周辺施設（「やまびこの湯」や「やまびこ交流館」等）と併せて都市住民との交流の拠点となっている。

（県民の声）

- ほ場の大区画化や水路整備、農道整備を行った結果、兼業農家でも営農が継続できる環境が整った。また、ほ場整備を契機に農業機械の大型化や共同利用を行い、営農の効率化が図られた。
- 農道整備で大型農業機械等の通行が可能となり、農作業の効率化が図られた。
- 農道を舗装したことで集落の一般車両も通行するようになったことから、農家だけでなく非農家も参加して年2回草刈りを行っている。ほぼ全員が参加しており、集落の一体感が生まれた。
- 〔体験農園の利用者〕三瀬の自然の中、農業体験ができることが素晴らしいと思った。種を蒔いて野菜になるのがこんなに楽しいとは思わなかった。管理人（地元農家）に野菜作りを教えてもらい勉強になった。